



道 標

みち

しるべ

2013/11/18
NO. 73

〈編集・発行〉

東中3年

進路指導部

進路担当より

問題集「パスポート」購入予約 再掲

問題集購入用の申し込み封筒を配布します。購入は自由ですので、希望者は封筒にお金を入れて、担任に渡してください。見本は教室で、回覧します。

11/27(水)締切

《体験入学感想》

名古屋市立北高校

登校に時間はかかったけど、学校の雰囲気はとてもよかったです。公立高校なのに校舎はきれいだし、設備も整っていた。音楽部が有名らしく、「音楽部あこがれて、入学を決める人もいる」と説明で聞いたけど、納得できるほどかっこよかった。その他の部活も活発で、とても楽しそうだった。
(E組 Yさん)

旭野高校

旭野高校はやっぱり頭が良く、きちりしている高校なのかなと思っていました。けれど、体験入学に行き、旭野高校の印象が変わりました。学校祭は毎年とても楽しそうでした。きちりしていないわけではなく、けじめがある学校なんだと思いました。
(B組 Iさん)

長久手高校

前に行った高校よりも広く、道を挟んでグラウンドや体育館があった。校舎が4つもあって、教室の数も多かった。尾張旭から近く、自転車で行くことのできる距離だった。部活も多くあった。実際行ってみて、すごくイメージが変わった。
(F組 Nくん)



私の進路選択

今回は、数学科担当の福田先生です。

私の道

昭和の中期、幼い頃の私は電車の運転手に憧れていました。近くを通る阪急電車に乗るときはいつも窓の外を見ることや運転席を見ることを要求していた覚えがあります。

中学生では年の離れた兄が建築設計を学んでいた影響もあり、建築設計士を何となく夢としていました。中学校の進路決定では自分の興味関心により、理系の大学に進学がしやすい普通科高校を目指しました。その頃は体験入学というしゃれたシステムはなく、近所の幼なじみの1年上の子にアドバイスを受け簡単に高校を選択しました。のんびりとした時代でそれで誰も小言を言わず回っていた時代でした。

その後高校、一浪して大学へ進学しました。大学では数学物理系に入学し、ここでは相対性理論や量子論それに宇宙論に興味に移りました。いよいよ職業選択の段階になり、今までの興味や学習の活かせる道を選びました。それが教職という選択です。学生時代の想いとはかなり仕事内容に違いがありましたが、人間と関わる仕事に遭遇することができて今となっては満足しています。

振り返ってみて私の選択基準は一貫して自分の興味や関心、やりがいに感じることを重視して選択したということです。様々な良き出会いや手助け、運もありましたが今はその選択に後悔していません。

